【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【公開番号】特開2010-284563(P2010-284563A)
【公開日】平成22年12月24日(2010.12.24)
【年通号数】公開・登録公報2010-051
【出願番号】特願2010-221627(P2010-221627)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　16/06　　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　16/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　16/06　　Ａ
Ａ６１Ｍ　16/06　　Ｚ
Ａ６１Ｍ　16/00　３０５

【手続補正書】
【提出日】平成22年11月10日(2010.11.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
【図１】関連技術の幼児用バブルマスクを示す図である。
【図２】成人の患者上での関連技術のＶＩＳＴＡ（商標）マスクの透視図である。
【図３】ＶＩＳＴＡ（商標）マスクの側面図である。
【図４】ＶＩＳＴＡ（商標）マスクの前面図である。
【図５】ＶＩＳＴＡ（商標）マスクのヘッドギアヨークの側面図である。
【図６】本発明の第１の実施形態によるヘッドギアヨークの平面図である。
【図７】図６の断面７－７に沿った断面図である。
【図８】図６に示すヨークの底面図である。
【図９】本発明の実施形態による側部ヘッドギアストラップの平面図である。
【図１０】本発明の実施形態による中央後部ヘッドギアストラップの平面図である。
【図１１】図１０の中央後部ヘッドギアストラップおよびＶＩＳＴＡ（商標）を比較する平面図である。
【図１１ａ】本発明の実施形態によるヘッドギアクロスオーバを示す図である。
【図１１ｂ】本発明の実施形態によるヘッドギアクロスオーバを示す図である。
【図１１ｃ】本発明の実施形態によるヘッドギアクロスオーバを示す図である。
【図１２】本発明の実施形態（「キッド」クッション）による、フレームに装着されたクッションの平面図である。
【図１３】「キッド」クッションの立面図である。
【図１４】「キッド」（フレームなし）クッションの側部立面図である。
【図１５】「キッド」クッションの底部立面図である。
【図１６】「キッド」クッションの透視図である。
【図１７】他のクッション形状と比較した「キッド」クッションの平面図である。
【図１８】成人用ＶＩＳＴＡ（商標）と比較した寸法の変化を示す「キッド」クッションの下側リムの背面記録図である。
【図１９】成人用ＶＩＳＴＡ（商標）クッションと比較した寸法の変化を示す「キッド」クッションの膜を示す図である。

【図２０】「キッド」クッションの膜の縁部、およびより丸みを帯びた「ミニ」クッションの下側隅部を示す図である。
【図２１】本発明の実施形態によるマスクのシステムの概略プロット図である。
【図２２】本発明による「キッド」クッションの背面図である。
【図２３】ＶＩＳＴＡ（商標）および／またはその他の前の実施形態と比較した本発明による「キッド」クッションの底面図である。
【図２４】本発明による「キッド」クッションの上面図である。
【図２５】本発明による、使用中の「キッド」クッションの側面図である。
【図２６】本発明の実施形態によるクッションのための上部口唇デザインの特徴を示す図である。
【図２７】ＶＩＳＴＡ（商標）、キッドスタスモール、キッドスタエクストラスモールを比較した、本発明による鼻幅対鼻またはブリッジ高さをプロットしたサンプルフィッティングチャートである。
【図２８】「キッド」、キッドスタスモールおよびＶＩＳＴＡ（商標）のクッションを比較した断面図である。
【図２９】「キッド」、キッドスタスモールおよびＶＩＳＴＡ（商標）のクッションを比較した部分平面図である。
【図３０】本発明の実施形態による、ブリッジ中央深さを基にしたサンプルフィッティングチャートである。
【図３１】「キッド」、キッドスタスモールおよびＶＩＳＴＡ（商標）のクッションを比較した部分断面図である。
【図３２】本発明の実施形態によるキッドスタスモールクッションの平面図である。
【図３３】本発明の実施形態によるキッドスタスモールクッションの背面図である。
【図３４】本発明の実施形態によるキッドスタスモールクッションの側面図である。
【図３５】図３２の断面３５－３５に沿った断面図である。
【図３５ａ】寸法および／またはリムに対する膜の相対的な縮尺位置を含む、図３２に示す例示的な断面の図である。
【図３５ｂ】寸法および／またはリムに対する膜の相対的な縮尺位置を含む、図３２に示す例示的な断面の図である。
【図３５ｃ】寸法および／またはリムに対する膜の相対的な縮尺位置を含む、図３２に示す例示的な断面の図である。
【図３５ｄ】寸法および／またはリムに対する膜の相対的な縮尺位置を含む、図３２に示す例示的な断面の図である。
【図３５ｅ】寸法および／またはリムに対する膜の相対的な縮尺位置を含む、図３２に示す例示的な断面の図である。
【図３５ｆ】寸法および／またはリムに対する膜の相対的な縮尺位置を含む、図３２に示す例示的な断面の図である。
【図３５ｇ】寸法および／またはリムに対する膜の相対的な縮尺位置を含む、図３２に示す例示的な断面の図である。
【図３６】図３５からの詳細図である。
【図３７】図３５からの別の詳細図である。
【図３８】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの平面図である。
【図３８ａ】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの様々な断面図である。
【図３８ｂ】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの様々な断面図である。
【図３８ｃ】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの様々な断面図である。
【図３８ｄ】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの様々な

断面図である。
【図３８ｅ】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの様々な断面図である。
【図３８ｆ】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの様々な断面図である。
【図３９】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの背面図である。
【図４０】本発明の実施形態によるキッドスタエクストラスモールクッションの側面図である。
【図４１】図３８の断面４１－４１に沿った断面図である。
【図４２】図４１からの詳細図（縮尺２対１）である。
【図４３】本発明の実施形態によるフレームの上面図である。
【図４４】異なる位置での図４３のフレームの図である。